リモートワイヤレス給電で電力供給に関する社会課題を解決

株式会社Space Power Technologies

2019年5月設立の、マイクロ波送電技術をコアとした「空間伝送型ワイヤレス電力伝送(WPT)」を手がける京大発スタートアップです。

従来インターネットに接続されていなかった様々なモノがネットワークに接続される「IoT」が進む中、スマートデバイスやIoTセンサなどの数は指数関数的に増大しています。これらのデバイスが多様化・小型化し、無線インターネット接続も高速大容量化が進む一方で電力供給手段は限られており、そのほとんどが電気配線や充電ケーブルによる「有線」で給電を行っています。

このような不自由から解放し、電力供給に革命を起

〈実現に近づくワイヤレス電力伝送〉

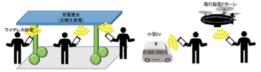


出典:総務省空間伝送型ワイヤレス電力伝送システム作業班 第7回会会資料 2020年1月 こす先端テクノロジーこそが「リモートワイヤレス送電技術」です。自由度の高いマイクロ波を用いたワイヤレス電力伝送システムは場所を選ばず、工場倉庫内での効率化を図るセンサー・表示機への利用をはじめ、3年後にはスマートフォンやノートPCへのリモート・ワイヤレス給電が現実的になってくる見込みです。

これまでのモバイル機器やデバイスの利用シーンの概念を打ち破る破壊的イノベーションとして期待されています。

万博では、関西電力との共同提案により、会場内外のモビリティ(クルマ・ドローン・小型飛行機)にワイヤレス電力伝送システムを搭載し、来場者に貸与される受電端末器への電力供給を行うことで、必要なときに屋外でも電気が届けられる「真のワイヤレス社会」を世界に示したいと考えております。

〈SPT社が万博で示す未来の電力供給〉



株式会社Space Power Technologies 【代表取締役】古川 実 【所在地】京都市西京区御陵大原1-36 京大桂ペンチャープラザ北館 https://spacepowertech.com/



「2025大阪・関西万博」セミナーin京都 をオンデマンド配信でご覧いただけます

内容:第1部

「2025 大阪・関西万博」における 京都での新たな付加価値の 創出について

大阪府立大学研究推進機構 特別教授 橋爪 紳也 氏



第2部

万博会場で実現したい「未来社会」の技術や サービスのアイデアを提案している企業からの 万博への参画意義や万博に期待することなど のプレゼンテーション

①株式会社 Space Power Technologies ②株式会社 SkyDrive

オンデマンド配信の視聴をご希望の方は、京都商工会議所Webサイトよりお申込みください。 https://www.kyo.or.jp/s116996/

※1月31日(月)14:00~15:30、からすま京都ホテルにて開催分の録画です。配信終了はWebサイトにてご案内します。

主 催 「大阪・関西万博」京都支援協議会 構成団体:京都商工会議所、(一社)京都経営者協会、(一社)京都経済同友会、(公社)京都工業会

お問い合わせ 京都商工会議所 産業振興部 商工振興課 TEL: 075-341-9771 E-mail: shinkou@kyo.or.jp

大阪・関西万博に関する過去記事はこちら



【5・6月号】 基本計画の概



및【7・8月号】 ☆ プロデューサー一覧・ ☆ TEAM EXPO2025の根



【9・10月号】 京都企業・団体も参加できる 多様な枠組みをご紹介



【11・12月号】 万博と社会的意義 ~京都に万博のレガシーを~ 大阪府立大学研究推進機構 特別教授 橋爪 紳也氏

2025年日本国際博覧会[略称「大阪・関西万博」] 会期 2025年4月13日~10月13日

「未来社会の技術・サービス」を 万博会場から世界へ発信



expo

「People's Living Lab

大阪・関西万博のコンセプ

は

に活かしていくか、 どのように活用. のアイデア提案に応募された企業2 を図り、万博会場内外での実証実験 証実験」に多様な企業の参画と共創 「People's 実現するためのコンセプトとして 「万博という『特別な街』でできる実 促進す 通じ 大阪・関西万博は、テ のち輝く未来社会のデザイ より広く行い アイデアの募集を2 の実現」などに資する「未来社 てイ ó る nd」や「S Living ため します。 n京都」では、自社技術 s ションや技術革新 を掲げてい ました。今回はこ Lab (未来社会の 本所が 5 0 D 大阪·関西万 C G ・マである e 達成+ ます。 9 年

「空飛ぶクルマ」で未来のモビリティ社会に貢献

株式会社SkyDrive

航空機・ドローン・自動車エンジニアが集う有志団体CARTIVATORから2012年に発足した「空飛ぶクルマ」の開発・製造・販売を行うスタートアップです。

2019年には「空飛ぶクルマ2023 年事業化」が内閣府の「成長戦略」 にも盛り込まれ、日本政府と民間 事業者が共に空飛ぶクルマの実現 に向けてロードマップを作成し、 事業開発・技術開発を進めていま す。2021年9月には、大阪府・大阪 市と空飛ぶクルマの実現に向けた 連携協定を締結し科学技術の発 展、防災機能の強化、イノベーショ ンの創出、地域活性化及び万博に 向けた機運醸成に取り組んでい ます。

「空飛ぶクルマ」は、正式名称を 「電動垂直離着陸型無操縦者航空機」 と言い、電動化、運転の自動化、 垂直離着陸が大きな特徴です。新 たな移動手段として世界各国で開 発が進んでおり、日本でも都市部 でのタクシーサービス、離島や山 間部の新たな移動手段、災害時の 救急搬送などの用途で期待されて います。

万博では「空飛ぶクルマ」を来場者に認知いただくため、遊覧飛行や夢洲と大阪ベイエリアの来場者輸送を想定したエアタクシーの実証などを計画し提案予定です。「100年に一度のMobility革命を牽引する」をミッションに、未来のモビリティ社会への貢献を目指します。





大阪府・大阪市との「空飛ぶクルマ」の実現に向けた連携協定



2020年8月、日本初、有人飛行の公開試験の成功

株式会社SkyDrive 【代表取締役CEO】福澤 知浩 【所在地】東京都新宿区 大久保3-8 https://skydrive2020.com/



京BusinessReview 2022.01-02